第3回 議員定数等調査特別委員会 会議録

日 時 令和7年2月12日（水曜日） 午後1時28分～午後2時15分
場 所 白杵庁舎2階 議員応接室

出席委員の氏名

委員 長 梅田 徳男 委 員 平川 幸司
委 員 安東 鉄男 委 員 河野 巧 ~~委 員 川辺 隆~~
委 員 戸匹 映二 委 員 匹田 郁 委 員 吉岡 勲

欠席委員の氏名

委 員 川辺 隆

オブザーバー

議 長 内藤 康弘 副議長 伊藤 淳

説明のため出席した者の職氏名

（ な し ）

出席した事務局職員の職氏名

局長 林 昌英 書記 原 伸行 主査 大井智香子

傍聴者

（ な し ）

会議に付した事件

1. 調査対象事項の他市（県内・類似団体等）の状況について
 2. 今後の調査・研究の取り組みについて
 3. その他
-

午後1時28分 開議

協議事項

1. 調査対象事項の他市（県内・類似団体等）の状況について

- ◎ 書記（原 伸行）
（ 配付資料に基づき説明 ）
 - 委員（質疑及び意見）
 - ・ 議員定数を変更した場合、何が発端になって議論が始まったという、集計結果などのデータはないか。
（回答；事務局）集計して取りまとめたものはない。該当する自治体が作成する報告書等があれば、それで確認し、ない場合は、電話等で問合せたりして、確認するしかない。そのため、県内自治体のみ調査し、先ほど口頭にて説明をしたところ。
- （ 協議結果 ）
- 調査対象項目の現状の資料については、了承。
今後、追加資料が必要な場合は、別途委員会等でご提案いただく。

2. 今後の調査・研究の取り組みについて

（1） 調査・研究に対する考え方の整理について

- ◎ 書記（原 伸行）
（ 配付資料に基づき説明 ）
 - 委員（意見）
 - ・ 議員定数の市民意見の調査について、市民の意見を聞く場合、大体減らしたほうが良いという意見が多くなると想定される。実施に当たっては、メリットやデメリットなど判断材料を提起して行うよう準備することが必要ではないか。
- （ 協議結果 ）事務局案のとおり、了承。

（2） 議員意見の調査について

- ◎ 書記（原 伸行）
（ 配付資料に基づき説明 ）
- 委員（意見）
 - ・ 政務活動費の項目で、『導入』を選択した場合、その金額についても回答する欄を作ってはどうか。
 - ・ アンケートの際には、判断材料として、人口推計等の基礎的なデータ必要があるのでは。
 - ・ アンケートの提出方法は、データでの提出も可能としてほしい。
 - ・ 事務局の職員数の項目は、現状の業務を基に考えるということでのよいのか。調査の補助や政務活動費等の導入など業務の変化も踏まえ検討するのか。
→（回答；梅田委員長）
 - ・ 事務局の業務の範囲については、現状のもので調査を行う。
 - ・ 仮に市民を対象としてアンケートを行う場合、今回の議員アンケートと同内容を想定して

いるのか。

→（回答；事務局）

- ・市民意見の調査は、方法自体の検討を今後行っていくと想定している。仮にアンケートを実施する場合は、議員と市民では、議会に対する立場が違うので、質問事項は別途協議し、決定することとなるが、内容は全く異なるものを想定している。

（協議結果）

委員の意見により、以下の点を踏まえ、基本的には、事務局案のとおり行う。

- ・全議員を対象に、これまでの協議の結果及び今回の資料など基礎資料の説明を行った上で、アンケートを行う。
- ・アンケートは、印刷物を配布し、必要に応じてデータでの提出可能とする。
- ・議員アンケートの政務活動費の項目に、『導入』を選択した場合、その年額の回答欄を追加する。

（3）今後のスケジュールについて

- ◎ 書記（原 伸行）
（配付資料に基づき説明）
- 委員（意見）
（なし）

（協議結果）事務局案のとおり行う。

※2月25日（火）の議員ゼミナール終了後に全員協議会を開催し、委員長報告及び資料説明を行った上で、全議員を対象とした議員アンケートを、3月4日（火）を提出期限として実施する。

3. その他

- 委員（意見）
 - ・先日の議会運営委員会で八幡浜市議会への視察の際に、常任委員会が2つあるが、所管する議案数が大きく異なるとのことだった。定数にあわせて、委員会の構成が変化する可能性があるが、その点も考慮にいれ検討する必要があると感じた。

午後2時15分 閉会

白杵市議会委員会条例第30条第1項の規定を準用し、ここに記録を作成する。

令和7年2月12日

議員定数等調査特別委員会
委員長 梅田 徳男